

事務事業マネジメントシート(令和 2年度実績と令和 3年度計画)

令和 3年12月20日更新

事務事業名		消毒機械貸出事業		<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	生活環境の健康	所属部	市民生活部	課長名	岡田 光弘
	施策	18	住環境の充実	所属課	環境衛生課	担当者名	尾ノ上 明日美
	施策の柱	56	環境衛生の充実	所属班	環境衛生班	(内線)	1143
予算科目	会計一般	款 4	項 1	目 7	事業連番 11471	根拠法令	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 2年度で終了 <input type="checkbox"/> 2年度から開始			事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	衛生害虫を駆除することにより、伝染病の予防を目的として開始した。平成24年度から各自治会(区)の判断で実施する区へ消毒機械の貸出しを行い、消毒薬剤の購入は各自治会負担とした。
【業務の流れ】	消毒機械の点検・修理・貸出し
【主な予算費目】	修繕費
【意見や要望】	特になし

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
①手段(主な活動) 2年度実績(2年度に行った主な活動)(DO)	消毒機械の点検・修理・貸し出しを行った。(消毒機械の貸し出し:延べ14台 消毒実施世帯数:114世帯)	3年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 件	予算の主な増減の理由
→ア:消毒機械の貸し出し数	→イ:	消毒機械の点検・修理委託費の増
②対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	家屋	②対象指標(対象の大きさを表す指標)
		(単位) 戸
		→ア:世帯数
		→イ:
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	衛生害虫の駆除	③成果指標(意図の達成度を表す指標)
		(単位) 戸
		→ア:消毒実施世帯数
		→イ:
*③成果指標設定の理由と3年度目標値設定の根拠		総トータルコスト全体計画 ~ 年度
衛生害虫を駆除することにより、伝染病の予防を目的としており、成果指標を「消毒実施世帯数」と設定した。令和3年度目標値は例年通り「500戸」と設定した。		0

(2)各指標・総事業費の推移		単位	30年度実績(決算)	31年度実績(決算)	2年度目標(当初予算)	2年度実績(決算)	3年度目標(当初予算)	4年度予定	5年度見込	6年度見込	
①活動指標	ア 件		5	8	5	5	5	5	5	5	
	イ										
②対象指標	ア 戸		24,519	24,835	24,970	24,970	25,238	25,640	25,992	26,346	
	イ										
③成果指標	ア 戸		563	412	500	114	500	500	500	500	
	イ										
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
	人件費	一般財源	千円	100	121	106	106	121	106	106	106
		(A)事業費計	千円	100	121	106	106	121	106	106	106
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	3	3	5	4	5	5	5	5
延べ業務時間	時間	105	105	150	104	150	150	150	150		
(B)人件費計	千円	413	416	597	410	597	597	597	597		
トータルコスト(A)+(B)	千円	513	537	703	516	718	703	703	703		

事務事業名	消毒機械貸出事業	所属部	市民生活部	所属課	環境衛生課
-------	----------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部 (CHECK)

*原則は2年度の事後評価、ただし複数年度事業は2年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 2年度目標達成度評価	<input type="checkbox"/> 達成した <input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 貸し出し希望者数の減による。
	② 3年度目標達成見込み	<input type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 平成24年度から消毒薬剤を自己負担にしたため、実施世帯が減ってきていることもあり目標達成は難しい。
有効性評価	③ 成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 消毒を実施する世帯が減少してきている。
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 類似事業がない
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 事業費が修繕費なので削減できない。
	⑥ 人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 最少人員で行っているので削減の余地なし
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 受益者負担の見地から、薬剤は使用者負担とした。
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第28条に規定する発生予防の目的に資するので適正である。

3 評価結果の総括 (CHECK)

消毒機械の点検・修理・貸し出しを行った。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない) 貸し出し希望者の減のため。	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策																						